

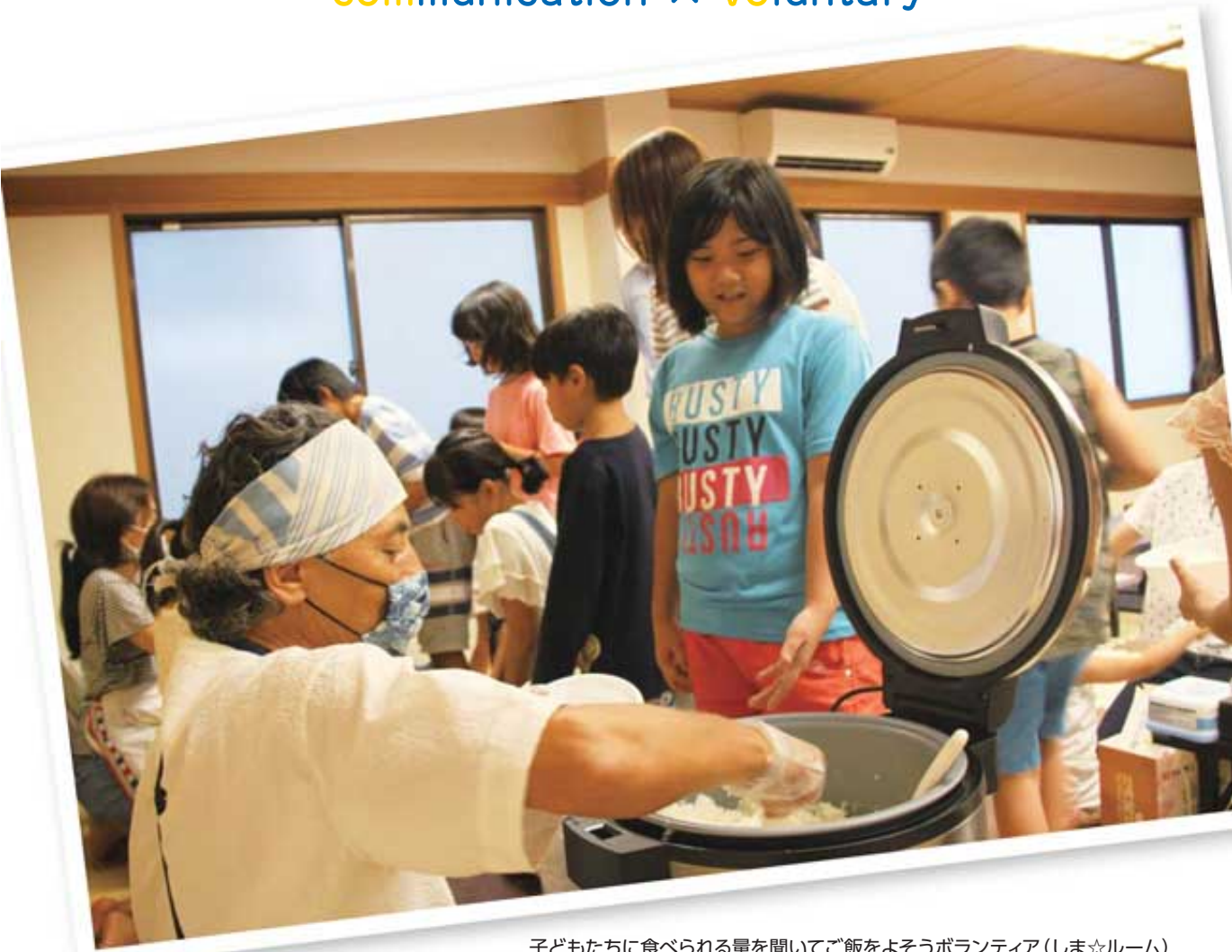
ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

コンボ 10月号

2018
vol. 230

communication × voluntary



子どもたちに食べられる量を聞いてご飯をよそうボランティア(しま☆ルーム)

特集

子どもの生きる力を育む

「ゆったりと日本の文化に触れる子どもの居場所」

～こどもの部屋「しま☆ルーム」～

- 3 こどもの居場所づくりスタート講座参加者募集!! ～地域こども支援ネットワーク事業～
- 5 大阪市で震度6弱を観測・・・大阪府北部地震
- 7 岡山県倉敷市にボランティアバスを運行・・・平成30年7月西日本豪雨災害

ゆったりと日本の文化に触れる子どもの居場所

～こどもの部屋「しま☆ルーム」～



子どもたちの間にボランティアが座り一緒に食事をいただきます

「しま☆ルーム」発起人の福井潤一郎さんは、子どもたちが安心してすごせる居場所を提供したい、子どもたちが孤立することなく、楽しく食事ができ、伸び伸びと育っていける環境をつくりたいと考えていました。そんな時、あるテレビ番組で紹介されたこども食堂の取り組みを見て「これなら自分にもできるかも」と思いました。

中央区社会福祉協議会の職員からアドバイスを受けながら、地元の小学校の校長先生と協議を重ね、様々



代表の福井潤一郎さん

子どもが安心してすごせる場所をつくりたい

社会のグローバル化傾向が急速に進むなか、私たちの生活する身近な地域社会にも、ちよとした変化の兆しがあります。子どもたちの居場所のひとつであるこども食堂が注目される中、大阪市中央区島之内にあるこどものへや「しま☆ルーム」には、外国にルーツをもつ子どもたちが多く集まります。

な生活事情から支援を必要としている子どもや家庭があることを知りました。また同地域で放課後学習支援教室を実施している「Minamiこども教室」に相談。また以前、見学に訪れたことのあるNPO法人西淀川子どもセンター代表の西川日奈子さんから「考えてたらあかん、前に進まな！」と強く背中を押されました。

それぞれの国にルーツをもつ子どもたち

福井さんは自身経営していた薬局を譲り、約3ヶ月の準備期間を経て、2017（平成29）年6月に「しま☆ルーム」をスタート、現在は毎週水曜日の午後3時30分から7時30分ま



食事の時間までは宿題をしてカードゲームや工作を楽しみます



高校生ボランティアの木村汐里さん

で、島之内にある道仁連合会館の2階で開催しています。未就学児から高校生まで、約25人の子どもたちが集まり、学生ボランティアのお姉さんやお兄さんと遊びに興じたり、一緒に宿題や学習をしたりと、学びと交流の場となっています。また日本の文化や風習に少しでも親しんでもらいたいと、子どもの日には鯉のぼりを作ったり、七夕祭りや、お月見などを体験できるよう工夫しています。

ここに集まる約半数の子どもたちは外国籍です。フィリピンからやってきたある4兄妹は、家庭で話す言葉はタガログ語。でも、日本語の上手な弟にはお兄ちゃんも歯が立ちません。中には自分の気持ちを日本語で上手く言えず、もどかしく感じる子どももいます。

ボランティアの一人、高校3年生の木村汐里さんは「子どもたちが大好きです。何か手助けがしたい」とこども食堂でのボランティア活動に参加しています。「大変というより、逆に子どもたちからエネルギーをもらっています」と笑顔で語ってくれました。

ネットワークを広げ、地域全体で子どもを見守る

「しま☆ルーム」のこども食堂は、調理スタッフが献立を担当、野菜や調味料などはおおさかバルコプから提供されています。お肉を差し入れしてくれる寄付者も現れ、その時に集まった食材でメニューを決めています。道仁連合会館には厨房がないため、調理は福井さんが借りた近くのワンルームマンションで行いボランティアが会場まで運んでいます。

開設当初は少なかったボランティアも、次第にネットワークが広がり充実してきました。福井さんは「子どもたちが楽しく遊び、成長する姿を見られることが、何よりの喜びです」と語ります。これからはもっと地域の皆さんとの交流が生まれ、子どもたちを将棋やコマ回しなど昔の遊びを教えたり、地域ぐるみで子どもたちを見守っていけるようなネットワークを築いていきたい」と、福井さんの夢は広がっていきます。

ときどき、記者、古川繁美



飲食店が並ぶ道をお迎えに来たボランティアと一緒に歩く子どもたち

こどものへや しま☆ルーム

対象：幼児～高校生
参加費：無料
日時：毎週水曜日
午後3時30分～5時30分 宿題・遊びの時間
午後5時30分～6時30分 食事タイム
午後6時30分～7時30分 学習支援
午後7時30分 送迎

会場：道仁連合会館2階(中央区島之内2-12-19)

f 「しま☆ルーム」で 検索

一緒に作って一緒に食べて、
子どもたちがそば打ち体験！

東成区のラーメン店「狐狸乃里」の店主が、母子生活支援施設「東さくら園」が実施することも食堂のこともたちと一緒に行いました。店主はラーメン店を開業する前にそば打ちの修業をしていたこともあり、今回のそば打ち体験を提案。同区の東さくら園が子どもたちに呼びかけました。

当日は小学校1年生から中学校2年生まで6人が参加。まずは店主がそば粉を混ぜ、生地をこね、めん棒で延ばして、切るといったそば打ちの工程を子どもたちに説明しながら、目の前でやって見せます。その後、子どもたちはそれぞれの工程を体験。「うまくできるかドキドキする」と言っていた子どもたちも、お兄ちゃんやボランティアに見守られながら夢中で作業し、最後はざるそばにしてみんなで一緒に食べました。

支える仕組みづくり ネットワーク事業～



地域子ども支援ネットワーク事業啓発イベント 食でつながる地域の居場所

日程／11月7日(水) 午後1時～4時30分

会場／丸善インテックアリーナ大阪

(大阪市中央体育館)会議室

*詳細が決まり次第ホームページでご案内します

こどもの居場所づくりスタート講座

受講料
無料

子ども食堂や学習支援活動などこどもの居場所の必要性や、活動に関わる衛生管理やボランティア保険について学べる講座です。子ども食堂を開催している団体からの活動報告あり！

日程 1回目 9月25日(火)午前10時～午後3時
2回目 10月16日(火)午前10時～午後3時

会場 1回目 大阪市立社会福祉センター
(天王寺区東高津町12-10)
2回目 大阪府教育会館たかつガーデン
(天王寺区東高津町7-11)

対象 子ども食堂や学習支援等のこどもの居場所づくりをはじめようと考えている人、または現在活動中の人

定員 各プログラム50人(先着順)

1回目2回目とも、同じ内容です。
全てのプログラムを受講することも、一つのプログラムのみを受講することも可能です。

申込締切方法 1回目 9月21日(金)まで
2回目 10月12日(金)まで
電話・FAX・Eメール・申込フォーム

申込み・問合せ先



No	時間	テーマ	講師/登壇者
1	午前10時～11時	こどもの居場所の必要性について	桃山学院大学 准教授 金澤ますみさん
2	午前11時～正午	子ども食堂等における衛生管理について	大阪府役所健康局
休憩			
3	午後1時～2時	ボランティア活動保険・行事保険について	島本保険事務所
		地域子ども支援ネットワーク事業について	大阪市ボランティア・市民活動センター
4	午後2時～3時	子ども支援活動の実践報告(活動報告と質疑応答)	9/25 ・にしよど子ども食堂くるる(西淀川区) ・ka・ta・ri(平野区) 10/16 ・十三子ども0円食堂(淀川区) ・しま☆ルーム(中央区)

社会全体で子どもを ～地域子ども支援



大阪市社会福祉協議会では、子ども食堂や学習支援活動などの子どもの居場所づくりを進め、社会全体で子どもを支える仕組みづくりを目指し、地域子ども支援ネットワーク事業を展開しています。

企業からの提供物資が 社会福祉施設を通じて 子ども支援団体に！

児童福祉施設の社会福祉法人博愛社（淀川区）に、ベルティの販売事業を展開する内海産業株式会社から、洗剤やマスク、トートバッグなどが預けられました。さっそく淀川区で「十三子ども0円食堂」を運営しているボランティアが博愛社を訪れ、施設の職員から提供物資を受け取りました。「カレーの油污れが取れなくて困っていたので、洗剤スプレーは助かります。物資がもらえるだけではなく、児童福祉の専門知識を持つた施設の職員さんと話せることも心強いです」と十三子ども0円食堂のボランティア。

内海産業株式会社の担当者は「大阪

に拠点を置く企業として、地元へ貢献できることがあればと支援を申し出ました。物資提供に限らず子ども食堂などに協力できることがあれば考えていきたい」と話します。

7月にはイベント企画会社の株式会社カクタス（西区）が、スポーツタオル100枚とまるもち4袋、粒あん1袋を提供。タオルは同社の主催するマラソンイベントの記念品、まるもちと粒あんは会場でお汁粉を作った時の余剰分でした。「年3回マラソンイベントを開催し、記念品を配布していますが、数に余裕を持つて作るためにどうしても余ってしまいます。社会貢献として役立てることがあれば」と担当者は話しました。物資は、社会福祉法人海の子ども園入舟寮（港区）を通じて、子ども支援団体に提供されました。

企業は提供物資を市内福祉施設へ運びます



内海産業(株)から(社)博愛社へ物資が預けられました

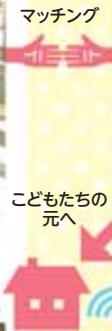


(株)カクタスから(社)海の子学園入舟寮へ物資が預けられました

福祉施設を通じて子ども支援団体へ



施設職員から物資を受け取る「十三子ども0円食堂」のボランティア



地域子ども支援ネットワーク事業のホームページを公開しています。現在、子ども支援に関するイベントや助成金情報を掲載中です。一度、のぞいてみてくださいね!

ホームページ公開中!!



私たちにできること

～東淀川区内の企業・学校が支援活動に参加～

大阪府北部地震で被災した人を支援するため、東淀川区社会福祉協議会（以下、区社協）は区内の企業や学校に協力を呼びかけました。日本メディカル福祉専門学校では「学生に積極的にボランティア活動を経験してほしい」と授業終了後、説明会を実施。また、大阪経済大学では、ネット掲示板で学生に呼びかけ、11人が登録。一度に10人を超える登録は異例とのこと。大学は学生の関心の高さに驚きました。



作業しやすいようテーブルを移動

区内の大学生・専門学生が活躍

8月10日、午前9時半に東淀川区社協3階の東淀川区ボランティア・市民活動センターに大阪経済大学3年生の学生ボランティア5人が集まりました。オリエンテーションでは、職員から訪問する時の注意点や依頼内容の説明を受け、地図を頼りに自転車で移動しました。

依頼者は、母と娘の2人暮らし。途方に暮れていた時に、集合住宅の掲示板で東淀川区社協のチラシを見て連絡しました。6畳ほどの部屋に大きなタンスが、出入り口をふさぐように直角に倒れて、引き戸の木枠には、倒れた時の衝撃で削れた痕が残っています。

得意を活かしてボランティア活動

「学生の間に、ボランティア活動の経験をしておきたかった」と岡田大輝さんがグループリーダーになりました。5人で相談して作業しやすいようテーブルを移動してからタンスを起こしました。

着物など衣類をビニール袋に詰め、別室で仕分け作業。唯一の女性ボランティアの田川絵里香さんが、依頼者と一緒に作業を行いました。「女性でもできることがあると分かってく嬉しかった」と田川さん。他のメンバーはタンスの解体作業。趣味で工具を使い慣れている東優希さんが器用にねじを外してい

タンスが壊れているので声を掛け合い、慎重に持ち上げます



東淀川区社会福祉協議会の動き (6月18日～8月中旬)

6月18日
午前7時58分、大阪府北部を震源とする地震が発生。区社協では、各事業の利用者等に安否確認を行い、同時に「東淀川区社会福祉協議会災害対策本部」の立ち上げ準備を始める。

・2017（平成29）年に、区社協で「災害ボランティアセンター開設・運営訓練」を実施。この訓練が活かされ、職員の初動の動きが早く、区役所の災害対策本部担当者と連携をスムーズに行うことができた。

防災翌日～6月下旬

被害の大きかった大阪府北摂エリアに隣接する区内北東部を中心にニーズ調査・実態調査を行うことに。まず地域の会議で「今回の地震による困りごとの情報を集めていきます」と記載したチラシを配布し、回覧版や掲示板などで周知してもらえよう呼びかける。また、訪問調査員によるチラシのポスティングを開始し、広く情報が届くように区役所等と連携した。

きます。

エレベーターのない5階建ての最上階。久津輪裕斗さんと角谷航さんは、階段を往復して解体したタンスを集積所に運び出します。往復するだけで息が上がりませんが、終始、笑顔を見せながら作業を続けました。「5人でも大変な作業でした。外からだと被害が見えにくいけど、見えないうちで困っている人がいることが分かった」と久津輪さん。5人は初対面でしたが、それぞれの得意を活かしたチームワークの良さを見せていました。

恐縮した様子で作業を見守っていた依頼者。作業が終わるころには、広々とした部屋で、タンスから出てきた母子手帳を見ながら親子で談笑する姿に、ボランティアも心が和みました。



エレベーターのない5階建ての最上階を何回も往復しました

家づくりのプロが本業を活かして地域貢献



代表
二宮浩一さん
(一級建築士)

北大阪エリアを中心にリフォーム・建築工事を行う。32歳で独立し、東淀川区に事務所をかまえる。図面を書き、自ら現場に出て大工仕事をすると
いう職人肌

7月下旬、区社協から依頼を受け、二宮工務店は、地震で屋根瓦がずれたことにより、雨漏りして困っていた高齢者世帯など、民家3軒を訪問しました。屋根の上にあがり、2軒はシーリング剤で補修し、1軒はブルーシートをかけ、ロープを張って、土嚢袋を置きました。ブルーシートは区役所から貸与され、資材は工務店が全て持ち出し、無償で行いました。



地震でずれた屋根瓦



ブルーシートを張った後

代表の二宮浩一さんは、「家はくつろぐところ。シンプルで、生活しやすいよう実用性、機能性を重視し、提案しています」とお客さんに満足してもらえたいことを一番に、丁寧な仕事を心がけています。また、困っている人がいたら力になりたいと、数年前に『東淀川区災害時地域協力貢献事業所・店舗』として、地域貢献する意思表示をしていました。「人間のつくったものは自然の力にはかなわない」長年の家づくりの経験から、災害時の家の耐震性について考えることがあったと話します。

今回、区社協職員の西池深音さんから困っている人たちの事情を聞き、「仕事に支障がない可能な範囲で」と快諾しました。

修理作業中、ヘルパーさんと一緒に表にでて、心配そうに屋根を見上げる依頼者。作業が終了すると「ありがとございます」と安堵の表情を浮かべていました。「照れくさい気持ちもありましたが、協力できて良かったなと感謝しています。この縁を大切にしたい」と二宮さんは達成感を感じています。

・困りごとを抱えている人が潜在化している可能性をふくめ、きめ細かく情報発信する

・高層で揺れが強く被害が出ていた集合住宅では、防災リーダーや班長を中心に、地域の支え合いの中で困りごとに対応したという報告あり

6月下旬、大阪市の各区役所で被災証明書の申請受付開始。ニーズ調査は口コミで広がり、全21件(8月末時点)の困りごととの相談を受け、区社協職員が2人1組で依頼者の自宅に訪問。生活に直結する緊急性の高い困りごとを優先に対応。登録ボランティアグループに協力依頼。

7月初旬、区社協と平時から繋がりのあった区内専門学校と大学の学生に災害ボランティアを呼びかけ、計20人が登録。

・学生の災害ボランティア活動への関心が高いという報告あり

7月初旬～中旬、平成30年7月西日本豪雨災害により、地震で破損した屋根に気が付き、「雨漏りして困っている」とブルーシート張りのニーズが立て続けに入るように。しかし、高所での作業は、ボランティアには危険すぎるため、専門性と経験が必要と判断。「東淀川区災害時地域協力貢献事業所・店舗」の覧にあった工務店に協力依頼。

7月下旬～8月中旬、事前登録した学生ボランティアに呼びかけ、倒れた家財の運び出しなど片づけ。ピアノの移動、家具の解体など計13人の学生たちが力を合わせて、依頼のあった3軒を3日間かけて片づけた。

西日本豪雨災害 岡山県倉敷市にボランティアバスを運行



使えなくなった家財を運び出すボランティア

7月に発生した西日本豪雨災害を受けて、大阪市社会福祉協議会（以下市社協）および大阪市ボランティア・市民活動センター（以下市ボラセン）では、全国社会福祉協議会を通じて各被災地の社協からの応援要請を受け、7月20日から岡山県内の市町村協災ボランティアセンター（以下災害V.C）の運営支援のための職員派遣を行っています。

また、大阪府社会福祉協議会（以下府社協）と堺市社会福祉協議会（以下堺社協）と合同でボランティアバスを運行し、大阪からボランティアの支援をつないでいます。

炎天下で、延べ83人が活動

7月31日、8月7日、8月10日の3日間、岡山県倉敷市真備町で災害ボランティア活動に参加するボランティアを乗せたバスが難波を出発しました。被災地の災害ボランティアセンターには「ボランティアにきてほしい」という住民からの依頼が集められ、依頼内容に応じてボランティアが活動します。今回は、家の中に入った泥かきや、浸水したり破損して使えなくなった家財の解体や畳の運び出しなどを行いました。

連日猛暑が続き、日中の気温は35度を超える中、炎天下での活動となりました。乾燥した粉塵が舞い、足元には割れたガラスも散乱しているため、長靴や軍手、マスク姿での作業。ボランティアは熱中症に注意しながら懸命に活動を続けました。

被災者に寄り添いながらのボランティア活動

一見すると美しい佇まいの日本家屋も、1階が完全に浸水し、室内には流れこんだ泥が乾燥して積み上がったまま。土壁は崩れ落ち、窓ガラス



7月31日第1回目の参加者



各戸から出されたタンスや本棚などの被災財

は水の衝撃で割れ、土と埃にまみれた家具が横倒しになっていて、土石流の怖さを感じました。「自分たちだけではどうしようもなかった。ボランティアさんに来てもらえてありがたい」と住民の女性。「まさかこんなことになるとは思わなかった。今は何も考えられないです」と話す視線の先にあるのは、使えなくなった洋服ダンスや本棚。ボランティアは力を合わせてそれらを運び出しました。



被災者からニーズを聞き取るボランティア

ボランティアからは、「自分では費用や交通手段がなく何回も行けないのでありがたい」「土地勘がなく不安だったが、他のボランティアと一緒なので安心して活動できる」とボランティアバスの必要性が感じられる声や、「少しでも住民のみなさんの役に立ちたかった。テレビで見てるだけで何もできない自分に無力さを感じていた」「自分にも何かできることがあると感じることができた」といった感想が聞かれました。

災害ボランティアセンターの運営支援のための職員派遣は、現在も継続中です。被災地の皆さんが一日でも早く安心して暮らせるよう、今後も支援を続けていきます。

よっしゃ、作るか。

NPO法人 設立講座

～社会を変える、想いを形にする～

定員
50人
(先着順)

受講料
無料

日程

9月29日(土)

午後1時30分～4時30分

内容

講義2時間／全体質問会 1時間

これから2年以内にNPO法人の設立を目指すかたへ。法人化に向けて準備しておくこと、メリット・デメリットなど法人格取得について学ぶための講座です。

講師

特定非営利活動法人きょうとNPOセンター

対象者

2年以内にNPO法人を設立しようと計画している団体・個人
NPO法人を立ち上げたい、あるいは検討している団体・個人

会場

大阪市立社会福祉センター 3階 第1会議室
(天王寺区東高津町12-10)



申込フォームはこちら

申込方法

9月26日(水)までに電話・FAX・Eメール・申込フォーム

申込み・問合せ先

大阪市ボランティア・市民活動センター(担当:畑野)P14参照

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



情報マーケット掲載団体に 問合せするのに便利なQRコード

- 1 気になる情報があれば、スマホで
下記QRコードをバーコードリーダー
で読み取る
- 2 掲載団体の情報一覧を
ダウンロード!!
- 3 問合せ先、
団体ホームページなどに
アクセスできます!



④ 子ども食堂・無料の学習指導のボランティア募集

ダニエル教室&子ども食堂

<http://daniel-kodomosyokudou.jacklist.jp/>

毎週木曜日出入り自由なスタイルの、子ども学習支援、放課後サ
ポート活動です。

日 程 毎週木曜日 午後4時半~7時半

場 所 中央区東心斎橋1-3-19-2F

人数・条件 食事あり

申込方法 電話・Eメール・来所

問合せ▶ TEL/06-6121-2015 FAX/06-6121-2016
Eメール danielkodomom6121@gmail.com (担当:李)

⑤ ギター及びサックス奏者さん募集します

はあといと歌声ユニティ

住吉区民センターで定期開催中の歌声ホール他の伴奏バンド”あふたあびいと”の
ギター担当が年末で脱退されるためお手伝いいただける人を募集します。

日 程 参加は平成31年1/9(水)から
スタジオ練習は毎週水曜日午前中。
本番開催平成31年度は4/24・5/22・7/24・9/25・11/27

場 所 住吉区民センタースタジオ(練習)
住吉区民センター小ホール(本番)
他不定期で施設などへの訪問演奏(参加は任意)

人数・条件 ギター及びサックス奏者さん各1人。
練習時の交通費は自己負担になります。(小ホール本番のみ昼食あり交通費支給)
条件は譜面が読めて真面目に練習参加いただける人。年齢・性別・経験不問。

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール teru@ima.ptv.jp (担当:今西)

⑥ 障がいのある子どもたちと一緒に楽しく過ごしませんか?

NPO法人 規公会 児童発達支援・放課後等デイサービス ぱうむくうへん
<https://ameblo.jp/baumkuchen-kikoukai/>

障がいのある子どもたちと一緒に勉強を教えあったり、工作・絵画・球技・
遊戯などの見守り・参加を行っています。

日 程 火曜日~金曜日(午後4時~6時※児童長期休暇時は正午~午後3時)
土曜日(正午~午後3時)

場 所 淀川区西中島3-5-12 新大阪浪速ビル101号室
阪急「南方」駅、地下鉄「西中島南方」駅 各駅徒歩約3分

人数・条件 1日数名程度(要相談)

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6829-6387 FAX/06-6829-6387
Eメール baumkuchen.kikoukai@yahoo.ne.jp (担当:金澤)

① もちもち感謝!!祭

社会福祉法人 治栄会 あかまつ園

<http://www.akamatsuen.com>

今年で20回目を迎えるお祭りです。
地域の方にご理解・ご協力いただいていることに感謝するお祭りです。一緒にお祭り
を盛り上げて楽しみませんか?会場設営準備・バザーや模擬店のお手伝い・片づけ等

日 程 11/10(土) 午前10時~午後4時

場 所 社会福祉法人 治栄会 あかまつ園 (都島区御幸町2-10-23)
晴天時:近隣の公園にて実施(御幸北児童遊園)
雨天時:あかまつ園内
地下鉄「野江内代」駅 徒歩15分 「都島」駅 徒歩20分

人数・条件 食事あり・交通費あり(上限500円)

申込方法 電話・FAX・郵送・Eメール・来所

問合せ▶ TEL/06-6929-5100 FAX/06-6929-4455
Eメール akmt@skyblue.ocn.ne.jp (担当:今井)

② 外国にルーツを持つ子どもへ学習支援・居場所づくりの ボランティア・運営スタッフの募集

サタデークラス(NPO法人おおさかこども多文化センター内)

<https://www.facebook.com/saturdayclassinjuso/>

サタデークラスでは、外国にルーツを持つ子どもたちの居場所づくりと、教科・
日本語学習、高校受験対策などをマンツーマンで実施しています。今年度か
らの新体制に伴い、運営スタッフ、ボランティアを募集中です。

日 程 毎週土曜日 午後2時~4時(終了後、ボランティアミーティングあり)

場 所 ECC国際外語専門学校(北区中崎西2-1-6)
地下鉄「中崎西」駅4番出口徒歩1分

申込方法 Eメール

問合せ▶ TEL/080-3730-9478
Eメール saturdayclass2005@gmail.com (担当:児島)

③ 時空想のみんなでやっちゃえ!!緑日 てとてとて・えがいの輪

ひらの地域生活支援センター時空想(じくそう)

障害のあるなしに関わらず、いろんな人が、模擬店あり、ゲーム
や音楽ありで思いっきり楽しめる地域交流企画です。

日 程 11/3(土・祝) 午前8時半~午後4時
希望者には10/27(土) 午後5時から説明会を開きます。
個別もOKです。

場 所 NPO法人 J-pal周辺 JR「平野」駅徒歩4分

人数・条件 人数:10人程度 どなたでもOK・初めての人大歓迎です。
交通費支給あり(上限1,000円)。

申込方法 電話・FAX

問合せ▶ TEL/06-6793-4355 FAX/06-6793-4363
Eメール jigsaw@apple.zaq.jp (担当:田淵)

⑪山王プログラミング教室 ボランティア募集

NPO法人 南大阪電腦支援集団 土日祝
<http://denno.fem.jp/> 継 👤

山王プログラミング教室は、西成区山王地域で月1回開催している、無料の子ども向け「プログラミング教室」です。子どもたちがプログラミング(主にScratch)するのを手伝って下さい。

日 程 10/14(日)、11/11(日)、12/9(日) 午後1時半～3時

場 所 山王集会所(西成区山王2-10-24)
 地下鉄「動物園前」駅 徒歩5分、JR「新今宮」駅 徒歩7分

人数・条件 定員:若干名 プログラミングに興味のある方

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/090-9281-6193
 Eメール minamosaka.denno@gmail.com (担当:宮田)

⑦西成区子ども食堂ボランティア募集

社会福祉法人ストローム福祉会 山王子どもセンター 平日
<http://www.5c.biglobe.ne.jp/~sannoh/> 継 👤

西成区山王にある「永信子ども食堂」の調理、運営のお手伝いをしてくれる人を募集しています。

日 程 毎月第1・3水曜日の午後2～9時(の中で3時間以上お手伝いいただける方)
 食堂の開店時間は午後6～8時です。
 夏休み期間や祝日の場合は変更の可能性あり。

場 所 西成区山王3-10-20

人数・条件 毎回5人前後募集しています。
 夕食:10円以上のカンパで子ども食堂の食事を食べられます。

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6633-8415 FAX /06-6633-8415
 Eメール sannoh-k-c@mwa.biglobe.ne.jp (担当:小林)

⑫パソコン教室講師ボランティア募集中

特定非営利活動法人 MAMIEマミー 土日祝
<http://mamie.jp/> 継 🚗 👤

主に聴覚障がいや知的障がいのある小・中・高校生に対してのパソコン指導です。ウィンドウズと、ワード・エクセルをある程度使いこなせる方で、障がいのある子ども(特に知的障がい児)と接したことがある人は大歓迎です。

日 程 土・日曜日 午後1時～5時半(応相談) 午後1時～2時半、2時半～4時、4時～5時半の3コマを土日にこなしてあります。(応相談)毎週でなくても構いません。

場 所 特定非営利活動法人MAMIEマミー事務所(淀川区西中島3丁目20-8 新和ビル903号)
 地下鉄「西中島南方」駅北出口徒歩1分 阪急「南方」駅徒歩2分

人数・条件 交通費あり、ただし遠方よりお越しで、交通費が高額になる場合、お断りする場合がございます。

申込方法 電話・FAX・Eメール
 HPより申込書ダウンロード <http://mamie.jp/otoiawase.html>

問合せ▶ TEL/06-6885-4141 FAX/06-6885-4141
 Eメール mamie@mamie.jp (担当:安藤)

⑧子どもひろば日本語および教科学習支援ボランティア募集

公益財団法人 大阪国際交流センター 平日
<http://www.ih-osaka.or.jp/international/kodomohiroba.html> 継 👤

外国にルーツを持つ子どもへの日本語および教科学習支援を行っている「子どもひろば」で、支援に携わっていただくボランティアを募集しています。

日 程 《子どもひろば》毎週月曜日 ①午後5時～7時 ②午後6時40分～8時45分
 ※①②通しての参加大歓迎
 《補習教室》毎週木曜日 午後3時～6時

場 所 大阪国際交流センター1階インフォメーションセンター内会議室
 交流スペースL(天王寺区上本町8-2-6)

人数・条件 若干名 資格は問いません
 補習教室:高校入試科目が指導可能な方

申込方法 電話 まずは電話にてお問い合わせください。見学日をお知らせします

問合せ▶ TEL/06-6773-8182 (担当:周)

⑬聴導犬・介助犬の候補犬を、あなたも育ててみませんか?

厚生労働大臣指定法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会 平日 土日祝
<http://www.hearingdog.or.jp/> 継 👤

耳の不自由な方に生活に必要な音を知らせる聴導犬と、手足に障がいを持つ方への介助犬を、主に各地の保健所や保護団体が保護された犬から育成し、無料で貸与しています。

日 程 ご家庭での受け入れ期間は、要相談。様々な環境に慣れるように2ヶ月交代であずかって頂きます

場 所 ボランティアご自宅

人数・条件 聴覚障がい者支援の理解と保護犬の救済に共感いただける人。現在犬を飼っており保護犬を継続してあずかって頂ける人。ドッグフードや予防薬、トイレシートや食器などの日用品は協会が負担します。
 月1回のパピークラス(主に芦屋付近)への交通費や、普段与えるごほうびなどはご負担いただけます。

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/0265-85-4615 FAX/0265-85-5088
 Eメール inf@hearingdog.or.jp

⑨第33回どんぐりまつり ボランティア募集

城東どんぐりまつり実行委員会 土日祝
単 🍴 👤

自然とのふれあいを提供する子ども向けのお祭りです。工作やゲームのコーナーのお手伝いや、全体イベントと一緒に盛り上げてください。

日 程 11/3(土・祝) 午前8時半～午後2時
 雨天の場合 中止

場 所 南関目公園(城東区関目2-4)
 京阪「野江」駅徒歩15分

人数・条件 高校生以上で子ども好きな人。男女問わず。
 食事あり

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6935-8386 FAX/06-6935-8386
 Eメール shidoromodoro@hotmail.jp (担当:黒坂)

⑭東北タイ農村のコミュニティワーカーと語り合おう!

一般社団法人 コミュニティ・4・チルドレン 土日祝
<https://www.community4children.com> 単 👤

自分自身や生まれ育った地域を愛することができるように、東北タイ農村で実践しているコミュニティ活動について、来日したコミュニティワーカーの話を聞きながら、交流しませんか?

日 程 9/29(土) 午後2時～5時(受付:午後1時半～)

場 所 難波市民学習センター第1研修室(浪速区湊町1-4-1 OCATビル4F)
 地下鉄「なんば」駅 JR「JR難波」下車すぐ

人数・条件 参加費:無料

申込方法 Eメール 申込専用フォーム
 ・お名前・当日連絡がとれる電話番号・パソコンからのメールが受信できるメールアドレスを明記の上、お申込みください。

問合せ▶ TEL/06-6622-5645 FAX/06-6621-7139
 Eメール community_4_children@yahoo.co.jp (担当:加藤・山田)

⑩第42回福祉まつり ボランティアさん募集

第42回福祉まつり実行委員会事務局 土日祝
単 🍴 👤

中央舞台と6つのひろば、模擬店、城東ブロック連絡会の各福祉施設を開放します。舞台設営や会場整備、受付、各ひろば協力、撤収作業等のボランティアさんを募集しています。

日 程 11/11(日) 午前9時半～午後3時半

場 所 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 城東ブロック施設とその周辺
 すみれ愛育館(城東区古市1-19-15)とその周辺
 地下鉄「今福鶴見」駅 徒歩15分・地下鉄「新森古市」駅 徒歩15分
 京阪「関目」駅 徒歩20分・シティバス 京橋より新森7丁目東行き「鶴見5丁目」下車徒歩5分

人数・条件 人数・特になし・食事あり

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵送・来所

問合せ▶ TEL/06-6931-3872 FAX/06-6931-5081 〒536-0001城東区古市1-19-15すみれ愛育館
 Eメール fukusimaturizimukyoku@gmail.com (担当:田路)



◀ 昨年のチャリティバザーも大盛況でした

Voice

ここでは、過去に
“情報マーケット”で掲載した
団体の声をご紹介します！



団体名 **大阪ユニセフ協会**



活動内容についておしえてください。



世界のこどもの命と健康を守るユニセフの活動の広報と募金活動を主に大阪府下で行っています



「情報マーケット」に募集をかけるきっかけは？



活動内容を広く皆さまに知っていただくために募集いたしました



「情報マーケット」に掲載された後、みなさんからの反響はいかがでしたか？



大勢の方がチャリティコンサートやチャリティウォーク、チャリティバザーにご来場いただきご協力いただいております

⑮ ユニセフ・チャリティバザーOCAT2018

大阪ユニセフ協会

<http://www.unicef-osaka.jp>

土日祝



恒例のチャリティバザーを開催いたします。掘り出し物がいっぱいあります。ぜひご来場ください。収益金はすべて(公財)日本ユニセフ協会を通じて国際連合児童基金に送ります。

日 程 10/20(土) 午前10時～午後4時

場 所 浪速区湊町1-4-1 OCATビル B1F ポンテ広場
JR「難波」駅すぐ 地下鉄「なんば」駅徒歩3分

問合せ▶ TEL/06-6645-5123 (担当:弓場)

⑮ 点訳ボランティア養成講座 受講生募集

生野点訳サークル

点訳を基礎から学び、受講終了後点訳ボランティアとして活動していただける方の養成講座です。初めての方・再挑戦の方・学生さんも大歓迎。講習内容は、点訳の基礎・点字器を使用する実習・パソコン点訳・講演会等です。

日 程 2018/10/6～2019/2/16までの毎週土曜日(全17回)
午後6時半～8時半 ※10/20・12/29・1/5は休講

場 所 生野区民センター
(生野区勝山北3-13-30生野区役所前)
JR「桃谷」駅徒歩約15分

人数・条件 定員:15人(先着順) 受講料1,000円(テキスト「点訳のてびき」代)
※既にお持ちの方は受講料不要

申込方法 電話・FAX

問合せ▶ TEL/06-6712-3101 FAX/06-6712-3001
(担当:地域支援担当)

土日祝



⑮ ソーシャルワークセミナー 傾聴力養成コース応用編

公益財団法人 大阪YWCA

<http://osaka.ywca.or.jp/leader/assist/assist1810.html>

平日



コミュニケーションの要である「傾聴」を、参加体験型の授業で学ぶコースです。相手が自分の状況を理解し、気づきを得るための焦点づけ、選択肢の提供、直面化、解釈など、積極的技法を知ることができます。

日 程 10/18、10/25、11/1、11/15、11/22(いずれも木曜日)
午後6時50分～8時50分

場 所 公益財団法人大阪YWCA (北区神山町11-12)

人数・条件 受講料:全5回受講9,000円、単発受講2,160円(いずれも税込み)
定員:20人(申込者が8人未済の場合は開講いたしません)

申込方法 電話・FAX・Eメール・HP・来所

問合せ▶ TEL/06-6361-0838 FAX/06-6361-2997
Eメール info@osaka.ywca.or.jp (担当:牛江)

⑮ むかしMattoの町があった映画上映会

「地域で自分らしく生きる」をめざす実行委員会

イタリアは精神病院を全廃。その精神保健改革の中心になった街トリエステを舞台にした映画上映会です。上映後にトリエステに留学し、包括的地域精神保健サービスの活動を目の当たりにしてきた小村絹恵さんに前進し続けるトリエステの今についてお話を聞きます。

日 程 9/30(日) 午前10時～午後4時半

場 所 生野区民センター リゲッタIKUNOホール
(生野区勝山北3-13-20)

人数・条件 入場無料

問合せ▶ TEL/06-6712-3101 生野区社会福祉協議会

土日祝



⑮ 家族の施設入居を考える

介護保険市民オンブズマン機構大阪

<http://o-net.sakura.ne.jp>

平日



さまざまな介護施設の特徴、情報検索システムの活用などを通して施設の選び方を伝えるとともに、介護施設を利用した経験のある家族が決め手など体験談を話します。

日 程 10/26(金) 午後1時半～4時

場 所 ドーンセンター
(中央区大手前1丁目3-49)
地下鉄・京阪「天満橋」駅1番出口徒歩5分

人数・条件 受講料:1,000円 定員:70人(先着順)

申込方法 電話・FAX・郵送・HP

問合せ▶ TEL/06-6975-5221 FAX/06-6975-5223
〒537-0025 東成区中道3-2-34 JAM大阪 (担当:堀川)

⑳第29回 コメリ緑資金

公益財団法人 コメリ緑育成財団 事務局
http://www.komeri-midori.org/

非営利の団体による、地域の花植えや環境整備活動、環境保全活動などに対し助成を行います。

助成対象 ①緑化植栽活動：花や緑にあふれるふるさとづくりを目的とした、道路沿いや公園隣地などで行う「花いっぱい運動」など、地域住民が自ら行う植栽活動
②自然環境保全活動：緑豊かなふるさとづくりを目的とした、山林や河川敷、里地山などで行う自然環境の保護保全活動や整備、植樹活動

申請方法 HPから申込書をダウンロードし記入のうえ、必要書類等を添付し、送付
※必ずHPで詳細等を参照のうえ、応募のこと
締切：10/31(水) 消印有効

問合せ ▶ 〒950-1457 新潟県新潟市南区清水4501-1
TEL/025-371-4455 FAX/025-371-4151
E-mail:midori@komeri.bit.or.jp

㉑家庭生活支援員養成研修会・エンゼルサポーター認定研修会

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会 平日 土日祝
http://www.hitoren-osaka.org

ひとり親家庭の人が一時的に保育が必要なときに自宅などで子どもを預かってくださる支援員や産後間もない家庭での家事支援をしてくださるサポーターを募集しています。

日程 平日コース10/11(木)～11/15(木) 土曜コース10/13(土)～11/17(土)
【エンゼルサポーター認定研修会】
平日11/22(木) 土曜11/24(土) 午前9時15分～午後4時40分

場所 大阪市立愛光会館(北区中津1-4-10) 地下鉄「中津」駅5番出口
人数・条件 ・家庭生活支援員各コース30人 ・研修会最終時点で70歳以下の方
・エンゼルサポーター各コース60人 ・受講料無料(※ただし、保育実習に伴い一部自己負担があります)

申込方法 FAX・郵送・来所

問合せ ▶ TEL/06-6371-7146 FAX/06-6371-6722
〒531-0071 北区中津1-4-10 大阪市立愛光会館内(担当:西田)

㉒2018年度 国内助成プログラム

公益財団法人 トヨタ財団
https://www.toyotafound.or.jp/

テーマ:未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ
～地域に開かれた仕事づくりを通じて～

助成内容 A)しるべる助成:地域課題の発掘やその解決のために必要な調査、戦略立案、パイロット事業の実施などを目的としたプロジェクトへの助成
助成金額:上限 100万円/件 助成期間:2019/4/1～2020/3/31(1年間)
B)そだてる助成:地域課題解決に向けた事業の立ち上げ、実施、拡大ならびにそうした事業の担い手となる人材を育てることを目的としたプロジェクトへの助成
助成金額:上限なし 助成期間:2019/4/1～2021/3/31まで(2年間)
※助成対象については組織の法人格の有無・種類は問いません。その他、詳細はHPをご確認ください
ウェブサイトを応募エントリー登録を行い、応募者専用ページから基本情報・企画書を送信し応募する
締切:10/10(水)午後3時

応募方法

問合せ ▶ 〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階
TEL/03-3344-1701 FAX/03-3342-6911
Eメール gp4ca@toyotafound.or.jp(担当:喜田、鷺澤、石井)

㉓セラピューティック・ケア 家族のふれあいマッサージ&親子のふれあい"インファントセラピー"ワークショップ

認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会 平日
http://therapy-care.net/

セラピューティック・ケアは手の温もりで心身を癒やすケア法。英国赤十字社で学んだ第一人者が福岡から来場します。家族のマッサージやオイルを使わず手軽にできる親子のマッサージで楽しくふれあいませんか?

日程 11/13(火) 午前10時～正午

場所 中津つどいの広場ぐうぐう
(北区中津3-4-35 コープ中津106号室)

人数・条件 生後3ヶ月～3歳のお子様と母親 先着6組

申込方法 電話・Eメール

問合せ ▶ TEL/06-6371-3338 (TEL受付平日午前9時半～午後2時半まで)
Eメール info@therapy-care.net(担当:樋口) 時間外はメール

㉔2018年度 社会福祉事業 NPO基盤強化資金助成 「認定NPO法人取得資金助成」

公益財団法人 損保ジャパン日本興亜福祉財団
http://www.sjnkwf.org/

地域の中核となり、持続的に活動する質の高いNPO法人づくりを支援し、「認定NPO法人」の取得に必要な資金を助成します。

助成対象 社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画している特定非営利活動法人
※2018年4月1日以降に、認定NPO法人の取得申請をすでに提出している団体(認定済みの団体も含む)も対象です。

助成金額 1団体30万円(総額600万円予定)

申請方法 HPの申込フォームより、必要事項をご記入の上、送信してください
※締切 10/12(金)

問合せ ▶ 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL/03-3349-9570 FAX/03-5322-5257

㉕音訳ボランティア養成講習会(1)のご案内

社会福祉法人 日本ライトハウス情報文化センター 平日
http://www.lighthouse.or.jp/iccb/

音訳ボランティアを志す方を対象に、発声、発音、アクセントなどの基礎練習を中心とした講習会を開講します。修了後は「音訳ボランティア養成講習会(2)」に進んでいただくことができます。

日程 2018/10/9～2019/2/19の毎週火曜日(全15回)
※10/30、11/20、12/25、1/1、1/8は除く
午後1時～2時50分

場所 日本ライトハウス情報文化センター 4階会議室(西区江戸堀1-13-2)
地下鉄「肥後橋」駅2番出口すぐ

人数・条件 定員:15人(先着順)
受講料:7,000円(初回に納めていただきます)

申込方法 HPより申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送・FAX・Eメール・来所。締切:9/29(土)

問合せ ▶ TEL/06-6441-1017 FAX/06-6441-1027
Eメール rec@iccb.jp(担当:内藤)

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール ocvic@osakacity-vnet.or.jp(担当:濱辺・杉岡・縄)
※本誌の発行日は8月と1月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
(例:平成30年11月15日発行号(12月号)に掲載希望の場合は9月未まで)



おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

～海外から日本へ～

大阪の高校に学ぶ 若者たち Vol.24

season3

プロフィール

シリザナ チャリセ
ルーツ:ネパール
府立高校2年生
好きなこと:ダンス
(最近、クラブでフィリピンや、
中国の民族舞踊にも挑戦中)

こんにちは!
नमस्ते!
(ナマステ)



海外から来日、帰国して学ぶ高校生。
複眼的な視野をもつ彼らが毎号1人ずつ登場します。
(協力: NPO法人 おおさかこども多文化センター)

いいと思い高等学校に入学することを決めました。この高校に入学できて、とても嬉しかったのですが、ネパールの学校との違いがたくさんあって、辞めたいと思ったこともありました。

しかし、日をかさねるにつれて日本語が上達し、様々な国の素晴らしい仲間と出会い、とても幸せです。今では日本に来てとても良かったと思っています。日本人はとても優しく、今後の人生を一緒に過ごしたいという人にも出会えました。ネパールでは学べないことを日本でたくさん学びました。逆に日本では学べず、ネパールでしか学べないこともたくさんあります。そういうことを両方の国に伝えて行きたいです。これから勉強を頑張っていきたいです。

私は、3年前ネパールから日本に来ました。最初は、日本という国も知らなくて不安はありませんでした。最初の1年目はずっとアルバイトをしていました。でも、日本語が分からず、注意されても何を言われているのか分からなくて、悔しかったです。日本で暮らすために、日本語が必要ですし、友だちも作りたいので、日本語を学びたいと思いました。夜間学校に入学した時は「日本語が勉強できる!」と思い、とても嬉しかったです。

そこで日本語をたくさん覚えましたが、もっと学ばな



ゆかりカフェで落語会を開催しました

地下鉄「天神橋筋六丁目」駅から徒歩5分。表通りを一本入ると、都会の喧騒を忘れる住宅街に隠れた家的な飲食店が並びます。さらに奥の路地に『ゆかりカフェ』があります。
ゆかりカフェを運営する特定非営利活動法人社会空間デザイン研究所は、今回の助成金を活用して1階を改修。カウンターキッチンや、多目的トイレを設置してバリアフリーな空間をつくりました。ここでは、シニア世代のひとり暮らしの人を対象に、不定期でカフェをオープン

と緊張感をもって接することは良い刺激になります。おひとりさまが集まれる場が必要と思っています」と言います。昨年8月にオープン後、イベントに参加した人が友人を誘う形で徐々に広がりを見せています。

ゆかりカフェ

火・木曜日午前11時～午後4時(不定休・要事前問合せ)
〒531-0064 北区国分寺2-2-33
問合せ
TEL:06-6232-8489 メール:anc56538@nifty.com

ボラ基金助成団体へ突撃取材 オシヤレして出かけよう

平成29年度大阪市ボランティア活動振興基金を助成した団体を紹介します。
社会参加の空間整備支援事業

特定非営利活動法人社会空間デザイン研究所

ンし、月1回、落語会や食セミナーなどイベントを実施しています。

「ひとりで暮らしていると、もし自分が認知症になった時、そばに気づいてくれる人がいないことに不安を感じていました」とカフェを運営する龍岡恵子さん。龍岡さんは、以前に美容関係の仕事しながら、高齢者施設にメイクボランティア訪問をしていました。ヘアメイクの力で生き活きする利用者を間近に感じ、福祉に関心をもつようになり、色んな人と緊張感をもって接することは良い刺激になります。おひとりさまが集まれる場が必要と思っています」と言います。昨年8月にオープン後、イベントに参加した人が友人を誘う形で徐々に広がりを見せています。



ゆかりカフェ 龍岡恵子さん

アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. あると答えた人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。

※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>



(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO230号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2018年10月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

大阪シティ信用金庫
社会貢献活動トピックス

私募債発行で小学校に寄贈

当金庫は、平成30年7月30日付で、化粧品OEM/ODMの世界的メーカーである東洋ビューティ株式会社様が発行した寄附型の私募債「しんきんCSR私募債『輝く未来』」を大阪府内の信用金庫で初めて受託いたしました。

しんきんCSR私募債「輝く未来」寄贈品贈呈式



前田校長様に目録を手渡す増井社長様(右)

この私募債は発行する際に、発行企業が指定する学校等に発行金額の一部に相当する物品を寄贈する寄附型私募債です。

これに伴い、8月9日、寄贈先である大阪市立東中本小学校において、発行記念の寄贈品贈呈式を行い、東洋ビューティ株式会社の増井社長様が大阪市立東中本小学校の前田校長様に寄贈品を手渡されました。



寄贈品

寄贈品の「超短焦点プロジェクター」や「電子てんびん」、「実験用てこ」は、2学期からの授業に活用していただきます。

ボランティア・市民活動情報誌
「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいことコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。」

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	QRコード	
		版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円		240×170
表4 1/2ページ	127,500円		117×170
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円		117×170
本文 1/5ページ	38,000円		48×162

※原稿は原寸大の完全原稿(ポジ・MOデータ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

大阪市ボランティア・市民活動センター

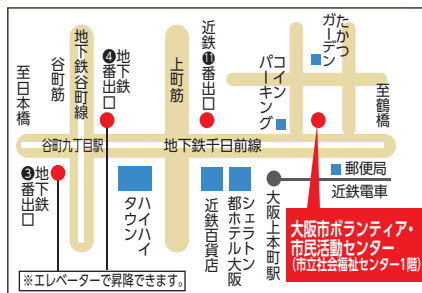
Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvic@osakacity-vnet.or.jp http://www.osakacity-vnet.or.jp

- 開館時間:午前9時30分～午後8時30分(月・水・金) 午前9時30分～午後5時(火・木・土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始
- 発行日:2018年9月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ
- 本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <http://comvo.lekumo.biz>

Osaka Metro(オオサカメトロ)(新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・蒲生四丁目・ポートタウン東 各駅) 阪神電車(梅田駅) 大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺) 各区在宅サービスセンター(区社協) 大阪市役所・区役所・区民センター、クレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

スタッフブログ <http://ocvic.blogspot.jp> Twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvic>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシア・バリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名称	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万体町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティアビューロー	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0083